

2007 年度

科目名 国文学演習Ⅲ	対象学科・学年 研究科国語(前)1 回生 研究科国語(後)1 回生	担当者 小林 健二
授業テーマ 『義経記』を読む。		
授業の概要と目標 『義経記』(全8巻)は希代の英雄、源義経の生い立ちから最期までを描いた長編の物語である。その物語の初めから終わりまでを一年間かけてじっくりと読んでいき、義経物の御伽草子や語り物、謡曲などとの関連を探っていく。		
評価方法 演習に取り組む姿勢(50%)・レポート(50%)		
テキスト 古活字版『義経記』(古典文学大系本)を用いる。	著者 岡見正雄	出版社 岩波書店
参考書 講義中に随時紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 『義経記』は、義経の生い立ちから奥州へ下っていく前半部(巻1～3)と、平家追討の後に頼朝と不仲になり奥州へ落ちて最期を迎える後半部(巻4～8)に大きく分けることができる。前期では、まず『義経記』のアウトラインをテキストの解説を用いて掴み、巻1～3までの前半部を読みたい。後期には巻4～8までの後半部分を読む。毎回、2～3段ずつ読み進め、その範囲での問題点を受講者各自が述べ、それについて議論する。 その上で、後期末に各自があたためたテーマにそってレポートを提出してもらおう。		